

<第185号>

事務局だより

平成30年10月10日発行

現在の会員数
合計200名
(男性 136名)
(女性 64名)

10月



ハロウィン

□ 10月16日は「虹の湖公園クリーン作戦」忘れずに！

今月は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」です。奉仕活動に参加申込みされた会員は勿論、まだ申し込んでいない会員の皆さん！ご協力下さい。

1. 日 時 10月16日(火) 午前8時45分～午前11時 ※ 小雨決行
2. 集合場所 御幸公園 午前8時集合(午前8時15分 福祉バス 出発)

□ 一泊研修旅行のお知らせ

宮古市との「姉妹都市交流事業補助金」が今年も交付の対象になることから、一泊研修旅行を実施します。今回は、宮古市シルバー人材センターとの交流の旅です。研修コースとして、1日目は、岩手県久慈市琥珀博物館、龍泉洞の見学、2日目は宮古市シルバー人材センター訪問(意見交換等)、とおの物語の館や遠野城下町資料館の見学を予定します。

1. 日 時 10月22日(月)～23日(火)
2. 参加費 13,000円
3. 定 員 20名
4. 申込〆切 10月15日(月) 厳守
5. 申込方法 参加費を添えて事務局に申し込んでください。

※ 詳細については、別紙「御旅行予定表」をご覧ください。



□ 『黒石🍎りんごまつり』 in シルバーフェア2018

11月17・18日にスポカルイン黒石で開催される「黒石りんごまつり」に、当シルバー人材センターも会場にブースを設け「シルバーフェア2018」を開催予定。

ブースでは、会員皆さんの活動状況や就業写真、自慢の手作り作品などを展示し、チラシ配布・クイズなどを交えながら、シルバー人材センターを広く知っていただくため、PRに努めたいと思います。

≪ 展示する作品を募集！ ご協力をお願いします。 ≫

▼ 会員自慢の作品を展示しますので、出品頂ける方は、事前に事務局へお知らせください。なお、展示作品を持参する際は、作品名も添えてお願いします。

□ 最低賃金の改正に伴う配分金について

最低賃金が改正されましたが、シルバー人材センターの就業は、臨時的・短期的又は軽易な業務をセンターが請負・委任により引き受け会員へ提供し、引き受けた会員は、仕事を完成完了させるシステムでありため、直接雇用の形態にあたらないことから、労基法等でいう「労働者」とはならず、最低賃金の適用を受けません。

当センターでは、10月4日付の最低賃金改正に伴って、配分金単価額の改正は、現時点で予定していませんが、来年度（4月～）に向け、配分金単価が最低賃金や地域における類似の仕事の対価に比べて著しく低くならないよう見直しを検討していることをお知らせいたします。

□ 第15回 グランドゴルフ大会 ～～ 結果発表 ～～

10月2日（火）互助会主催により、御幸公園でグランドゴルフ大会が開催され、14名の参加者で熱戦を繰り広げられました。その結果は・・・次のとおりです。

《入賞者》

第1位 齋藤 捨太郎 さん

第2位 村上 豊継 さん

第3位 中嶋 四千夫 さん



第4位 工藤 嘉治男 さん

第5位 鳴海 ふさ さん

BB賞 村上 むつ子 さん

□ 雪囲い・除雪作業の希望者を募集！

今年も庭木等の雪囲い作業と除雪作業に従事できる方を募集します。

希望の方は、事務局までお知らせください。

① 雪囲い作業：材料の運搬、杭・板等の釘打ち、荒縄（イボ結び）での縛り。

② 除雪作業（一般家庭等の除排雪、1F部分の雪下ろしなど。）

③ 高齢者世帯の除雪作業（市の委託） ※予定

※ 1. 1時間以内での作業（通路確保を目的とするもの。）

2. 作業範囲：約1m幅で道路から玄関先までの除雪。

☆ 高齢者世帯の除雪作業は、時間と除雪範囲に定めがあり、女性会員でも十分に対応できますので、ご連絡をお待ちしています。

□ 理事長のつぶやき ～「ゲーム」のやり過ぎは病気！！～

何事も3回はないと思ったが、心配された台風25号は「神のご加護」があったようで、ものの見事に外れ杞憂に終わったのでホッとしている処である。

今年7月下旬、東奥日報の『週刊ジュニジュニ』（小中学生新聞）にこんな記事が掲載された。昨年12月の事務局だよりで少し紹介したが、特に子どもの成長に関し気になったので、再度紹介したいと思います。

国際連合の健康状態を向上させる専門機関の世界保健機構（WHO）が、オンラインやテレビゲームのやり過ぎによって、日常生活に支障を来すとして「ゲーム障害」を新たな病気に認定。スマートフォンやタブレット端末（ペン等で平面板をなぞる装置）によるゲーム依存が広がり、世界各国で問題になっているというもので、ゲームをしたい気持ちが抑えられなくなり、ゲーム最優先の生活となるため、健康に問題があると注意しても続けてしまうという特徴があるという。

WHOの担当者によると、「ゲームを行った人の2～3%はゲーム障害とみられる」とも指摘し、ゲーム障害の人の脳は、アルコール依存の患者やギャンブル依存の患者と同じ反応を示すという研究結果も報告されている。患者の多くは若者と言われており、日本では、2013年度（平成25年）に行った厚生労働省の調査では、中高生の約52万人が、インターネットの「病的な使用」が疑われると指摘。現在はスマホが広く普及しているので、状況は悪くなっているのではないかと・・・。

また、内閣府が2017年度（平成29年）に10～17歳を対象に行ったインターネットの利用状況調査によると、回答者（3,288人）の82%がスマートフォンなどを中心に利用しており、小学生（1,016人）65%、中学生（1,308人）の85%が利用。利用内容は、小学生がゲーム77%、動画63%、中学生はゲームが73%、動画80%、平日1日当たりの利用時間は、小学生が97分、3人に1人は2時間以上も利用、中学生は148分で、2時間以上の利用が56%にのぼっている。

これに対し、ゲーム業界の反応は様々で、アメリカのPCゲームの業界団体は、ゲームに依存性はないと主張し、病気に認定しないよう求める声明を出したが、国際的な標準となる病気として研究が本格的に行われ、治療法が1日も早く見つかることを期待したい。

そう言えば夏休み中にこんな事もあった。孫（小学4年の女子）が宿題を携えて遊びに来た際、宿題の前にどうしてもゲームをやりたいと言って約1時間、持って来たゲーム機で遊んでから、宿題をやっていたことを思い出し、ずーと気になっていた。

その時、孫には『ずーと下ばかり見ていると、顔の筋肉が下がって“ブス”になってしまう』と話したが、“馬の耳に念仏”で意に介してなかった。これも娘夫婦が自分達もやっているのだからと安易に考えていることが、子どもに影響を与えているものであり、私自身としては子の再教育しなければと思った処である。後に聞いたら、1時間以上はやらせていないということであったが・・・。

子どもは地域や国の宝であることは勿論、地球の宝であり、アルコールやギャンブルと同じような状況になることは絶対に避けてほしいと願う。

自然災害は“神のご加護”で難を逃れることもあるが、人間が創ったものは人間の英知で克服するしかない、こんな事を思う晩秋“神無月”の夜長である。

発行 公益社団法人 黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131

緊急連絡先 080-6011-5131